

取り付け

取り付け部品の確認（付属品）

①

②

③

×2

×4

×4

④ バスケーブル 5m

⑤ RCAピンコード 5m

● この取扱説明書に記載されている取り付け、接続先の機器は、すべて別売り品です。（付属品は除きます。）

取り付け時のご注意

- 次のような取り付け場所は避けてください。
 - － 運転の妨げになるところ
 - － 同乗者の安全を損なうところ
 - － 温度が55℃以上になるところ
 - － 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
 - － 雨が吹き込むところなど、水がかかることや湿気の多いところ
 - － ほこりの多いところ
 - － しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
 - － 配線コードやパイプが下を通っているところ
 - － トランク内またはトランク下にあるスペアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ
 - － 磁気を帯びたところ
- トランク内に穴をあけるときは、必ず裏側に何も無いことを確認してください。
- 必ず、付属のネジ類をお使いください。他のネジを使用すると故障の原因となることがあります。

接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。別売品の仕様については、当社テクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。

ソニーバス対応のカーオーディオまたはソースセクターなどへ

バス音声入力 (BUS AUDIO IN)

バスコントロール入力 (BUS CONTROL IN)

⑤

④

*

※ バスケーブルの▲と本体側の▼の位置を合わせ、確実に接続してください。

CDX-T70MX

複数のCD/MDチェンジャーを接続する場合には、ソースセクター XA-C30が必要です。

ご注意

- 各コネクターを接続するときは必ず根元まで確実に差し込んでください。走行中の振動で抜けることがあり故障の原因となります。
- バスケーブルはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
- バスケーブルやコード類を外すときはコネクター部分を持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

横に置いて取り付ける場合

- φ3.5mmの穴をあける場合、以下の点にご注意ください。
- 取り付け穴は、リアトランクなどの床の裏側に何も無い場所を選んでください。

1

コイン等でダイヤルを
HORIZONTALの位置に
合わせる。

2

φ3.5mm

縦に置いて取り付ける場合

- φ3.5mmの穴をあける場合、以下の点にご注意ください。
- 取り付け穴は、リアトランクなどの床の裏側に何も無い場所を選んでください。

1

コイン等でダイヤルを
VERTICALの位置に
合わせる。

2

φ3.5mm

吊り下げて取り付ける場合

- トランクルームのリアトレイ下などに吊り下げて取り付ける場合、以下の点にご注意ください。
- 本体が水平に取り付けられる場所を選んでください。
 - トランクリッドの開閉時に、本体とトランクリッドのトーションバースプリングが接触しない場所を選んでください。
 - 取り付け穴は、リアトレイなどの裏側に何も無い場所を選んでください。

1

コイン等でダイヤルをHORIZONTAL
の位置に合わせる。

2

φ3.5mm

傾斜のあるところに取り付ける場合

左右のダイヤルには5段階の目盛りがあります。本体を取り付けたときにダイヤルの矢印が地面に対して垂直に近くなるように合わせてください。

ご注意

左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

準備 — 取り付け、接続を先にすませてください

1

CDマガジン(矢印面を上)

トレイ

レバー

ご注意

CDの落下防止のためにトレイは1枚ずつ引き出してください。

本機のCDマガジンはXA-T7をお使いください。
XA-T6はお使いになれません。故障の原因となります。

2

CDマガジンにCDを入れる。
ラベル面を上に入れて入れます

ご注意

8cmCDは再生できません。
8cmCDを使用すると故障の原因となります。
8cmCDアダプターも使用しないでください。

各トレイに1枚ずつ(6枚まで)

3

ドアを押し、ロックを外します。

→

ドアを矢印の方向に開けます。

けがの原因となりますので、CDチェンジャーの内部に手を入れないでください。

4

CDマガジンを取り出すには

ご注意

CDマガジンが確実にロックするまで押し込んでください。

▲ (イジェクト) ボタン

5

ドアを閉める。

必ずロックするまでドアを開けてください。
ほこりや異物が中に入るとCDチェンジャー内部の読み取りレンズが汚れます。

ご注意

CDマガジンを入れたときや、マスターユニットをリセットしたときは、本機が自動的に動作して、CDの情報を読み取ります。CDマガジン内のすべてのCD情報を読み取ると、自動的に停止します。ディスクの記録方法によってはイグニッションキーをOFFにしても、CD情報の読み取りが終わるまでは数分から数十分動作している場合がありますが故障ではありません。

CDマガジンについてのご注意

- 直射日光が当たる場所など高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に、夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。
- CDマガジンを落としたり、乱暴に扱ったりしないでください。

トレイがCDマガジンから外れてしまった場合

通常トレイはCDマガジンから外れないようになっています。もし外れてしまった場合は、右図のようにトレイの切り込みのあるほうを自分のほうに向けて右端をCDマガジンに差し込んでから、左端をカチッと音がするまで差し込んでください。

ご注意

トレイは必ず上下正しく差し込むようにしてください。